

大会名 Competition	第37回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-107	Year Month Day Time 2024 年 5 月 4 日 10 : 45
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
東 山	73 ●	藤枝明誠
	15 1st 26 16 2nd 27 14 3rd 25 28 4th 22 0 T	100 ○

主審:Crew chief
中道 凌平 秋田
副審:Umpire
斎藤 文弥 福島
工藤 美香 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
秋田県T0委員会

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	✓	松島 慎弥		9	3	0	0	0	00	✓	古田 愛礼		0	0	0	0	0
5	×	瀬川 琉久	cap	12	0	3	6	2	1	野田 遼聖		-	-	-	-	0	
6	×	カダマビカ サロモン		7	0	3	1	4	6	✓	檜垣 奏太		5	0	2	1	0
7	×	南川 陸斗		5	1	1	0	0	12	×	永田 貴陸		3	1	0	0	0
8	✓	小野寺 星夢		9	0	4	1	2	13	✓	渡邊 聖		14	4	1	0	1
9	✓	千葉 颯太		0	0	0	0	1	19	×	野津 洸創		7	1	2	0	2
10	✓	大本 純弥		0	0	0	0	2	31	✓	金子 來樹		4	0	2	0	3
11	×	佐藤 凪		18	1	5	5	1	32	×	野田 凌吾		6	0	3	0	0
12	✓	藪 元太郎		4	0	2	0	0	35	✓	柴田 陽		8	0	4	0	0
13	✓	川口 律		4	0	2	0	0	39	×	篠原 遼太		15	1	5	2	0
14	×	中村 颯斗		3	1	0	0	0	44	✓	アマー エマニエル		10	0	5	0	3
15	✓	ウエタ ブラウネ エノック		2	0	0	2	5	47	✓	高松 悠季		3	1	0	0	1
									69	✓	白崎 上総		0	0	0	0	0
									77	✓	徳田 翔太		0	0	0	0	2
									99	×	ホヌ ロードプリンス	cap	25	0	11	3	1
コーチ		大澤 徹也						0	コーチ		金本 鷹						0
Aコーチ		山崎 健太郎						0	Aコーチ		日下部 二郎						0
合計				73	6	20	15	17	合計				100	8	35	6	13

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 2P:2P率 FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking [Team]

1	18	24.66%	佐藤 凪	1	25	25.00%	ホヌ ロードプリンス
2	12	16.44%	瀬川 琉久	2	15	15.00%	篠原 遼太
3	9	12.33%	松島 慎弥	3	14	14.00%	渡邊 聖

Score ranking [Game]

1	25	ホヌ ロードプリンス	藤枝明誠	2	18	佐藤 凪	東 山	3	25	篠原 遼太	藤枝明誠
---	----	------------	------	---	----	------	-----	---	----	-------	------

両チーム共に、常に全国大会上位に位置する強豪校の対決。東山は#5瀬川、#11佐藤、#14中村と爆発的得点力を持ったガード陣「東山三銃士」を抱えハイスコアゲームで相手を圧倒するチーム。一方の藤枝明誠は得点、リバウンドにとオールラウンドに活躍する#99ロードプリンスを中心に、激しいディフェンスから走って得点を重ね、相手をロースコアに抑えるチーム。タイプが異なる闘いは、自分のペースに如何に引き込むかが勝負の鍵となった。

1Q、東山は#7南川と#14中村の3Pで得点するも、藤枝明誠は堅固なディフェンスからの速攻で#39篠原が連続得点。藤枝明誠はセットオフenseになっても#99ロードプリンスのゴール下で加点。東山は#6サロモンのファウルがかさみ控えセンターの#15エノックに交代。藤枝明誠は東山に思うようなオフenseをさせず、15-26。

2Q、スタート直後、東山#4松島の3Pが決まるもその後5分間ドライブからのショットや3Pが外れ無得点。藤枝明誠はリバウンドからの速攻や#99ロードプリンスのゴール下で差を広げる。残り時間5分を切ってから東山は#5瀬川、#11佐藤のドライブや#6サロモンのゴール下でつなぐも差は縮まらない。31-53で折り返し。

3Q、開始早々はお互いに点の取り合いになるが次第に東山のガード#11佐藤のミスショットが多くなる。一方の藤枝明誠は#99ロードプリンスのペイントエリア内の得点が多くなり差が広がる。45-78。

4Q、東山は#6サロモンのゴール下での活躍で加点。外からも#11佐藤がジャンプショットを決めるが、30点以上の点差を詰めるまでには至らず。藤枝明誠も控えの1年生センター#44エマニエルを使い経験を積ませる。最後は#44エマニエルのドライブからのダンクで100点目を入れ試合終了となった。73-100。

試合全体を見ると、藤枝明誠の堅固なディフェンスが東山のオフenseの爆発を抑え、1Qから3Qまで各Qを15点前後までにとどめた事が勝因と言える。